

柔道五輪連覇「夢を叶える思考力」とは

谷本さんが講演

「支え合える組織に」

東信倶楽部



アテネ、北京五輪の柔道女子で2連覇した柔道家で、日本オリンピック委員

会理事の谷本歩実さん(43)が26日、多治見市虎渓山町のとつしん学びの丘エール

で「夢を叶える思考力」と題して講演し、地元の経営者らに「支え合える組織づくりを大切にしてほしい」と訴えた。

講演は東濃信用金庫(同市)の取引先でつくる東信経済倶楽部の一環で開かれ、約80人が聞いた。

谷本さんは大舞台で普段通りの自分を出す考え方の一つに「心の矢印」を紹介。「『負けちゃだめだ』と思うほど矢印は自分に向き、パフォーマンスの幅を狭める。多くの成功した選手は

『やってきたことを全部出そう』と矢印を外に向けていた」と述べた。「組織を率いる皆さんは、矢印が外に向くような言葉をかけて背中を押してほしい」と参加者に促した。

強いチームづくりの鍵として「失敗した人にどんな言葉をかけるかが大切だ」と説いた。「現在のスポーツ界では負けた人を一人にしないことを徹底している。何でもいいから役割を与えてどんどん声をかければ、選手は自分の力で修正をしていく」と話した。

(稲木悠司)

「心の矢印が外に向くような言葉をかけてほしい」と話した谷本歩実さん(多治見市虎渓山町、とつしん学びの丘エール